

(別添)

公共事業の事業評価書(林野公共事業の事前評価)(平成25年3月29日公表)の一部修正 正誤表

正	誤																																																																												
<p style="text-align: center;">地区別評価結果</p> <p>(2)水源林造成事業(独立行政法人事業) 2 地区別評価結果 (3) 熊野川広域流域(評価書)</p> <table border="1" style="width: 100%;"><thead><tr><th colspan="4" style="text-align: center;">事前評価個表</th></tr><tr><td colspan="4" style="text-align: right;">整理番号 3</td></tr></thead><tbody><tr><td>事業名</td><td>水源林造成事業</td><td>事業計画期間</td><td>H25～(おおむね80年間)</td></tr><tr><td>事業実施地区名</td><td>熊野川広域流域</td><td>事業実施主体</td><td>独立行政法人森林総合研究所</td></tr><tr><td>事業の概要・目的</td><td colspan="3"><p>当事業は、全般に地形が急峻で温暖多雨な本流域内の民間による造林が困難な奥地水源地域において水源を涵養するため、独立行政法人森林総合研究所が分取造林契約の当事者となって、急速かつ計画的に森林の造成を行うことを目的としている。</p><p>具体的には、水源涵養保安林及び同予定地のうち、無立木地、散生地、粗悪林相地等において、独立行政法人森林総合研究所が造林地所有者、造林者と分取造林契約を締結し、森林整備のための費用負担及びシカによる食害対策など事業実行に関する技術指導を通じて、水源林を造成するものである。</p><ul style="list-style-type: none"><li>・主な事業内容：箇所数 31件、事業対象区域面積 353ha</li><li>・事業対象都道府県：三重県、奈良県、和歌山県</li><li>・総事業費：1,043,653千円</li></ul></td></tr><tr><td rowspan="3">費用対効果分析</td><td>総便益(B)</td><td colspan="2" style="text-align: right;">2,299,726千円</td></tr><tr><td>総費用(C)</td><td colspan="2" style="text-align: right;">823,902千円</td></tr><tr><td>分析結果(B/C)</td><td colspan="2" style="text-align: right;">2.79</td></tr><tr><td>第三者委員会の意見</td><td colspan="3">水源の涵養など水土保全機能の発揮のため早急に森林を造成する必要がある箇所であり、事業の効率性やシカによる食害対策など適切な技術指導などによる有効性も認められることから、事業実施の必要性が認められる。</td></tr><tr><td>評価結果</td><td colspan="3"><ul style="list-style-type: none"><li>・必要性:水源涵養保安林等のうち無立木地、散生地、粗悪林相地等を対象とするなど事業採択の必要要件をすべて満たしており、水源涵養など水土保全機能の発揮のため早急に森林を造成する必要があることから、事業の必要性が認められる。</li><li>・効率性:投下する費用を上回る効果が見込まれており、事業の効率性が認められる。</li><li>・有効性:シカによる食害対策や針広混交林化等水源涵養など水土保全機能の着実な発揮のために必要な施策等が計画されており、事業の有効性が認められる。</li></ul></td></tr></tbody></table>	事前評価個表				整理番号 3				事業名	水源林造成事業	事業計画期間	H25～(おおむね80年間)	事業実施地区名	熊野川広域流域	事業実施主体	独立行政法人森林総合研究所	事業の概要・目的	<p>当事業は、全般に地形が急峻で温暖多雨な本流域内の民間による造林が困難な奥地水源地域において水源を涵養するため、独立行政法人森林総合研究所が分取造林契約の当事者となって、急速かつ計画的に森林の造成を行うことを目的としている。</p> <p>具体的には、水源涵養保安林及び同予定地のうち、無立木地、散生地、粗悪林相地等において、独立行政法人森林総合研究所が造林地所有者、造林者と分取造林契約を締結し、森林整備のための費用負担及びシカによる食害対策など事業実行に関する技術指導を通じて、水源林を造成するものである。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・主な事業内容：箇所数 31件、事業対象区域面積 353ha</li><li>・事業対象都道府県：三重県、奈良県、和歌山県</li><li>・総事業費：1,043,653千円</li></ul>			費用対効果分析	総便益(B)	2,299,726千円		総費用(C)	823,902千円		分析結果(B/C)	2.79		第三者委員会の意見	水源の涵養など水土保全機能の発揮のため早急に森林を造成する必要がある箇所であり、事業の効率性やシカによる食害対策など適切な技術指導などによる有効性も認められることから、事業実施の必要性が認められる。			評価結果	<ul style="list-style-type: none"><li>・必要性:水源涵養保安林等のうち無立木地、散生地、粗悪林相地等を対象とするなど事業採択の必要要件をすべて満たしており、水源涵養など水土保全機能の発揮のため早急に森林を造成する必要があることから、事業の必要性が認められる。</li><li>・効率性:投下する費用を上回る効果が見込まれており、事業の効率性が認められる。</li><li>・有効性:シカによる食害対策や針広混交林化等水源涵養など水土保全機能の着実な発揮のために必要な施策等が計画されており、事業の有効性が認められる。</li></ul>			<p style="text-align: center;">地区別評価結果</p> <p>(2)水源林造成事業(独立行政法人事業) 2 地区別評価結果 (3) 熊野川広域流域(評価書)</p> <table border="1" style="width: 100%;"><thead><tr><th colspan="4" style="text-align: center;">事前評価個表</th></tr><tr><td colspan="4" style="text-align: right;">整理番号 3</td></tr></thead><tbody><tr><td>事業名</td><td>水源林造成事業</td><td>事業計画期間</td><td>H25～(おおむね80年間)</td></tr><tr><td>事業実施地区名</td><td>熊野川広域流域</td><td>事業実施主体</td><td>独立行政法人森林総合研究所</td></tr><tr><td>事業の概要・目的</td><td colspan="3"><p>当事業は、全般に地形が急峻で温暖多雨な本流域内の民間による造林が困難な奥地水源地域において水源を涵養するため、独立行政法人森林総合研究所が分取造林契約の当事者となって、急速かつ計画的に森林の造成を行うことを目的としている。</p><p>具体的には、水源涵養保安林及び同予定地のうち、無立木地、散生地、粗悪林相地等において、独立行政法人森林総合研究所が造林地所有者、造林者と分取造林契約を締結し、森林整備のための費用負担及びシカによる食害対策など事業実行に関する技術指導を通じて、水源林を造成するものである。</p><ul style="list-style-type: none"><li>・主な事業内容：箇所数 31件、事業対象区域面積 353ha</li><li>・事業対象都道府県：三重県、奈良県、和歌山県</li><li>・総事業費：1,043,653千円</li></ul></td></tr><tr><td rowspan="3">費用対効果分析</td><td>総便益(B)</td><td colspan="2" style="text-align: right;">2,296,028千円</td></tr><tr><td>総費用(C)</td><td colspan="2" style="text-align: right;">823,902千円</td></tr><tr><td>分析結果(B/C)</td><td colspan="2" style="text-align: right;">2.79</td></tr><tr><td>第三者委員会の意見</td><td colspan="3">水源の涵養など水土保全機能の発揮のため早急に森林を造成する必要がある箇所であり、事業の効率性やシカによる食害対策など適切な技術指導などによる有効性も認められることから、事業実施の必要性が認められる。</td></tr><tr><td>評価結果</td><td colspan="3"><ul style="list-style-type: none"><li>・必要性:水源涵養保安林等のうち無立木地、散生地、粗悪林相地等を対象とするなど事業採択の必要要件をすべて満たしており、水源涵養など水土保全機能の発揮のため早急に森林を造成する必要があることから、事業の必要性が認められる。</li><li>・効率性:投下する費用を上回る効果が見込まれており、事業の効率性が認められる。</li><li>・有効性:シカによる食害対策や針広混交林化等水源涵養など水土保全機能の着実な発揮のために必要な施策等が計画されており、事業の有効性が認められる。</li></ul></td></tr></tbody></table>	事前評価個表				整理番号 3				事業名	水源林造成事業	事業計画期間	H25～(おおむね80年間)	事業実施地区名	熊野川広域流域	事業実施主体	独立行政法人森林総合研究所	事業の概要・目的	<p>当事業は、全般に地形が急峻で温暖多雨な本流域内の民間による造林が困難な奥地水源地域において水源を涵養するため、独立行政法人森林総合研究所が分取造林契約の当事者となって、急速かつ計画的に森林の造成を行うことを目的としている。</p> <p>具体的には、水源涵養保安林及び同予定地のうち、無立木地、散生地、粗悪林相地等において、独立行政法人森林総合研究所が造林地所有者、造林者と分取造林契約を締結し、森林整備のための費用負担及びシカによる食害対策など事業実行に関する技術指導を通じて、水源林を造成するものである。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・主な事業内容：箇所数 31件、事業対象区域面積 353ha</li><li>・事業対象都道府県：三重県、奈良県、和歌山県</li><li>・総事業費：1,043,653千円</li></ul>			費用対効果分析	総便益(B)	2,296,028千円		総費用(C)	823,902千円		分析結果(B/C)	2.79		第三者委員会の意見	水源の涵養など水土保全機能の発揮のため早急に森林を造成する必要がある箇所であり、事業の効率性やシカによる食害対策など適切な技術指導などによる有効性も認められることから、事業実施の必要性が認められる。			評価結果	<ul style="list-style-type: none"><li>・必要性:水源涵養保安林等のうち無立木地、散生地、粗悪林相地等を対象とするなど事業採択の必要要件をすべて満たしており、水源涵養など水土保全機能の発揮のため早急に森林を造成する必要があることから、事業の必要性が認められる。</li><li>・効率性:投下する費用を上回る効果が見込まれており、事業の効率性が認められる。</li><li>・有効性:シカによる食害対策や針広混交林化等水源涵養など水土保全機能の着実な発揮のために必要な施策等が計画されており、事業の有効性が認められる。</li></ul>		
事前評価個表																																																																													
整理番号 3																																																																													
事業名	水源林造成事業	事業計画期間	H25～(おおむね80年間)																																																																										
事業実施地区名	熊野川広域流域	事業実施主体	独立行政法人森林総合研究所																																																																										
事業の概要・目的	<p>当事業は、全般に地形が急峻で温暖多雨な本流域内の民間による造林が困難な奥地水源地域において水源を涵養するため、独立行政法人森林総合研究所が分取造林契約の当事者となって、急速かつ計画的に森林の造成を行うことを目的としている。</p> <p>具体的には、水源涵養保安林及び同予定地のうち、無立木地、散生地、粗悪林相地等において、独立行政法人森林総合研究所が造林地所有者、造林者と分取造林契約を締結し、森林整備のための費用負担及びシカによる食害対策など事業実行に関する技術指導を通じて、水源林を造成するものである。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・主な事業内容：箇所数 31件、事業対象区域面積 353ha</li><li>・事業対象都道府県：三重県、奈良県、和歌山県</li><li>・総事業費：1,043,653千円</li></ul>																																																																												
費用対効果分析	総便益(B)	2,299,726千円																																																																											
	総費用(C)	823,902千円																																																																											
	分析結果(B/C)	2.79																																																																											
第三者委員会の意見	水源の涵養など水土保全機能の発揮のため早急に森林を造成する必要がある箇所であり、事業の効率性やシカによる食害対策など適切な技術指導などによる有効性も認められることから、事業実施の必要性が認められる。																																																																												
評価結果	<ul style="list-style-type: none"><li>・必要性:水源涵養保安林等のうち無立木地、散生地、粗悪林相地等を対象とするなど事業採択の必要要件をすべて満たしており、水源涵養など水土保全機能の発揮のため早急に森林を造成する必要があることから、事業の必要性が認められる。</li><li>・効率性:投下する費用を上回る効果が見込まれており、事業の効率性が認められる。</li><li>・有効性:シカによる食害対策や針広混交林化等水源涵養など水土保全機能の着実な発揮のために必要な施策等が計画されており、事業の有効性が認められる。</li></ul>																																																																												
事前評価個表																																																																													
整理番号 3																																																																													
事業名	水源林造成事業	事業計画期間	H25～(おおむね80年間)																																																																										
事業実施地区名	熊野川広域流域	事業実施主体	独立行政法人森林総合研究所																																																																										
事業の概要・目的	<p>当事業は、全般に地形が急峻で温暖多雨な本流域内の民間による造林が困難な奥地水源地域において水源を涵養するため、独立行政法人森林総合研究所が分取造林契約の当事者となって、急速かつ計画的に森林の造成を行うことを目的としている。</p> <p>具体的には、水源涵養保安林及び同予定地のうち、無立木地、散生地、粗悪林相地等において、独立行政法人森林総合研究所が造林地所有者、造林者と分取造林契約を締結し、森林整備のための費用負担及びシカによる食害対策など事業実行に関する技術指導を通じて、水源林を造成するものである。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・主な事業内容：箇所数 31件、事業対象区域面積 353ha</li><li>・事業対象都道府県：三重県、奈良県、和歌山県</li><li>・総事業費：1,043,653千円</li></ul>																																																																												
費用対効果分析	総便益(B)	2,296,028千円																																																																											
	総費用(C)	823,902千円																																																																											
	分析結果(B/C)	2.79																																																																											
第三者委員会の意見	水源の涵養など水土保全機能の発揮のため早急に森林を造成する必要がある箇所であり、事業の効率性やシカによる食害対策など適切な技術指導などによる有効性も認められることから、事業実施の必要性が認められる。																																																																												
評価結果	<ul style="list-style-type: none"><li>・必要性:水源涵養保安林等のうち無立木地、散生地、粗悪林相地等を対象とするなど事業採択の必要要件をすべて満たしており、水源涵養など水土保全機能の発揮のため早急に森林を造成する必要があることから、事業の必要性が認められる。</li><li>・効率性:投下する費用を上回る効果が見込まれており、事業の効率性が認められる。</li><li>・有効性:シカによる食害対策や針広混交林化等水源涵養など水土保全機能の着実な発揮のために必要な施策等が計画されており、事業の有効性が認められる。</li></ul>																																																																												

(別添)

公共事業の事業評価書(林野公共事業の事前評価)(平成25年3月29日公表)の一部修正 正誤表

正				誤				
地区別評価結果				地区別評価結果				
(2) 水源林造成事業(独立行政法人事業)				(2) 水源林造成事業(独立行政法人事業)				
2 地区別評価結果				2 地区別評価結果				
(3) 熊野川広域流域(評価書)				(3) 熊野川広域流域(評価書)				
様式1 便益集計表 (森林整備事業)				様式1 便益集計表 (森林整備事業)				
事業名: 水源林造成事業 施行箇所: 熊野川広域流域 (単位:千円)				事業名: 水源林造成事業 施行箇所: 熊野川広域流域 (単位:千円)				
大区分	中区分	評価額	備考	大区分	中区分	評価額	備考	
水源涵養便益 <sup>かん</sup>	洪水防止便益	490.031		水源涵養便益 <sup>かん</sup>	洪水防止便益	490.031		
	流域貯水便益	279.116			流域貯水便益	流域貯水便益	279.116	
	水質浄化便益	668.068				水質浄化便益	662.080	
山地保全便益	土砂流出防止便益	672.378		山地保全便益	土砂流出防止便益	672.378		
	土砂崩壊防止便益	16.085			土砂崩壊防止便益	16.085		
環境保全便益	炭素固定便益	159.167		環境保全便益	炭素固定便益	159.167		
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	14.881		木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	17.171		
総便益(B)		2,299.726		総便益(B)		2,296.028		
総費用(C)		823.902	千円	総費用(C)		823.902	千円	
費用便益比		$B \div C = \frac{2,299.726}{823.902} = 2.79$		費用便益比		$B \div C = \frac{2,296.028}{823.902} = 2.79$		

(別添)

公共事業の事業評価書(林野公共事業の事前評価)(平成25年3月29日公表)の一部修正 正誤表

正

地区別評価結果

(2)水源林造成事業(独立行政法人事業)

2 地区別評価結果

(3) 熊野川広域流域(参考資料)

水源涵養便益 水質浄化便益

水源涵養便益 水質浄化便益 事業効果区域 10.510

B = (sum\_{t=1}^{T-1} t / (T \* (1+i)^t)) + (sum\_{t=T}^Y 1 / ((1+i)^t)) \* ((D2-D1) \* A \* P \* u \* 10)
u = (Ux \* Qx + Uy \* Qy) / (Qx + Qy)

Table with parameters: Qx: 155.00 億, Qy: 1,707.30 億, A: 5.00 ~ 5.00, P: 2.982, T: 15, D1: 0.51, D2: 0.56, Ux: 176.35, Uy: 68.60, u: 77.57, Y: 80

単位合わせのための調整値

Table with columns: 年度, 社会的割引率, 事業効果区域, 効果額, 現在価値. Rows from 2012 to 2050.

誤

地区別評価結果

(2)水源林造成事業(独立行政法人事業)

2 地区別評価結果

(3) 熊野川広域流域(参考資料)

水源涵養便益 水質浄化便益

水源涵養便益 水質浄化便益 事業効果区域 10.423

B = (sum\_{t=1}^{T-1} t / (T \* (1+i)^t)) + (sum\_{t=T}^Y 1 / ((1+i)^t)) \* ((D2-D1) \* A \* P \* u \* 10)
u = (Ux \* Qx + Uy \* Qy) / (Qx + Qy)

Table with parameters: Qx: 155.00 億, Qy: 1,882.30 億, A: 5.00 ~ 5.00, P: 2.982, T: 15, D1: 0.51, D2: 0.56, Ux: 176.35, Uy: 68.60, u: 76.88, Y: 80

単位合わせのための調整値

Table with columns: 年度, 社会的割引率, 事業効果区域, 効果額, 現在価値. Rows from 2012 to 2050.

(別添)

公共事業の事業評価書(林野公共事業の事前評価)(平成25年3月29日公表)の一部修正 正誤表

正

地区別評価結果

(2)水源林造成事業(独立行政法人事業)

2 地区別評価結果

(3) 熊野川広域流域(参考資料)

水源涵養便益 水質浄化便益

2051	0.2166	5.00	5.00	578	125
2052	0.2083	5.00	5.00	578	120
2053	0.2003	5.00	5.00	578	116
2054	0.1924	5.00	5.00	578	111
2055	0.1852	5.00	5.00	578	107
2056	0.1780	5.00	5.00	578	103
2057	0.1712	5.00	5.00	578	98
2058	0.1646	5.00	5.00	578	95
2059	0.1583	5.00	5.00	578	91
2060	0.1522	5.00	5.00	578	88
2061	0.1463	5.00	5.00	578	85
2062	0.1407	5.00	5.00	578	81
2063	0.1353	5.00	5.00	578	78
2064	0.1301	5.00	5.00	578	75
2065	0.1251	5.00	5.00	578	72
2066	0.1203	5.00	5.00	578	70
2067	0.1157	5.00	5.00	578	67
2068	0.1112	5.00	5.00	578	64
2069	0.1069	5.00	5.00	578	62
2070	0.1028	5.00	5.00	578	59
2071	0.0989	5.00	5.00	578	57
2072	0.0951	5.00	5.00	578	55
2073	0.0914	5.00	5.00	578	53
2074	0.0879	5.00	5.00	578	51
2075	0.0845	5.00	5.00	578	49
2076	0.0813	5.00	5.00	578	47
2077	0.0781	5.00	5.00	578	45
2078	0.0751	5.00	5.00	578	43
2079	0.0722	5.00	5.00	578	42
2080	0.0695	5.00	5.00	578	40
2081	0.0669	5.00	5.00	578	38
2082	0.0642	5.00	5.00	578	37
2083	0.0617	5.00	5.00	578	36
2084	0.0594	5.00	5.00	578	34
2085	0.0571	5.00	5.00	578	33
2086	0.0548	5.00	5.00	578	32
2087	0.0528	5.00	5.00	578	31
2088	0.0508	5.00	5.00	578	29
2089	0.0488	5.00	5.00	578	28
2090	0.0469	5.00	5.00	578	27
2091	0.0451	5.00	5.00	578	26
2092	0.0434	5.00	5.00	578	25
合計					10,510

誤

地区別評価結果

(2)水源林造成事業(独立行政法人事業)

2 地区別評価結果

(3) 熊野川広域流域(参考資料)

水源涵養便益 水質浄化便益

2051	0.2166	5.00	5.00	573	124
2052	0.2083	5.00	5.00	573	119
2053	0.2003	5.00	5.00	573	115
2054	0.1924	5.00	5.00	573	110
2055	0.1852	5.00	5.00	573	106
2056	0.1780	5.00	5.00	573	102
2057	0.1712	5.00	5.00	573	98
2058	0.1646	5.00	5.00	573	94
2059	0.1583	5.00	5.00	573	91
2060	0.1522	5.00	5.00	573	87
2061	0.1463	5.00	5.00	573	84
2062	0.1407	5.00	5.00	573	81
2063	0.1353	5.00	5.00	573	78
2064	0.1301	5.00	5.00	573	75
2065	0.1251	5.00	5.00	573	72
2066	0.1203	5.00	5.00	573	69
2067	0.1157	5.00	5.00	573	66
2068	0.1112	5.00	5.00	573	64
2069	0.1069	5.00	5.00	573	61
2070	0.1028	5.00	5.00	573	59
2071	0.0989	5.00	5.00	573	57
2072	0.0951	5.00	5.00	573	54
2073	0.0914	5.00	5.00	573	52
2074	0.0879	5.00	5.00	573	50
2075	0.0845	5.00	5.00	573	48
2076	0.0813	5.00	5.00	573	47
2077	0.0781	5.00	5.00	573	45
2078	0.0751	5.00	5.00	573	43
2079	0.0722	5.00	5.00	573	41
2080	0.0695	5.00	5.00	573	40
2081	0.0669	5.00	5.00	573	38
2082	0.0642	5.00	5.00	573	37
2083	0.0617	5.00	5.00	573	35
2084	0.0594	5.00	5.00	573	34
2085	0.0571	5.00	5.00	573	33
2086	0.0548	5.00	5.00	573	31
2087	0.0528	5.00	5.00	573	30
2088	0.0508	5.00	5.00	573	29
2089	0.0488	5.00	5.00	573	28
2090	0.0469	5.00	5.00	573	27
2091	0.0451	5.00	5.00	573	26
2092	0.0434	5.00	5.00	573	25
合計					10,423

(別添)

公共事業の事業評価書(林野公共事業の事前評価)(平成25年3月29日公表)の一部修正 正誤表

正

地区別評価結果

(2)水源林造成事業(独立行政法人事業)

2 地区別評価結果

(3)熊野川広域流域(参考資料)

環境保全便益 炭素固定便益 樹木固定分

環境保全便益  
炭素固定便益  
樹木固定分

$$B = \sum_{t=1}^Y \frac{V2-V1}{Y \times (1+i)^t} \times D \times BEF \times (1+R) \times 0.5 \times \frac{44}{12} \times U$$

U:	二酸化炭素に関する原単位(円/CO <sub>2</sub> -ton) 出典:「二酸化炭素地中貯留技術開発成果報告書」(財)地球環境産業技術研究機構(平成18年3月)	6.046
V1:	事業を実施しない場合の評価最終年の当該森林の見込蓄積量(m <sup>3</sup> ) (事業を実施する場合の評価最終年の当該森林の見込蓄積量の1/2を想定)	スギ 623 ヒノキ 260 広葉樹等 192 0 0
V2:	事業を実施する場合の評価最終年の当該森林の見込蓄積量(m <sup>3</sup> ) 出典:人工林林分密度管理図(一社)日本森林技術協会) 森林農地整備センター収獲予測表(独)森林総合研究所)等	スギ 1,246 ヒノキ 519 広葉樹等 384 0 0
Y:	評価期間	80
D:	容積密度(t/m <sup>3</sup> ) 出典:「日本国温室効果ガスインベントリ報告書」(2011年4月)(国立環境研究所温室効果ガスインベントリオフィス編)	スギ 0.314 ヒノキ 0.407 広葉樹等 0.646 0 0
BEF:	バイオマス拡大係数(地上部バイオマス量/幹バイオマス量) 出典:「日本国温室効果ガスインベントリ報告書」(2011年4月)(国立環境研究所温室効果ガスインベントリオフィス編)	樹齢20年経 0.123 樹齢20年経 0.124 樹齢20年経 0.133 0 0 樹齢20年経 0
R:	地上部に対する地下部の比率(地下部バイオマス量/地上部バイオマス量) 出典:「日本国温室効果ガスインベントリ報告書」(2011年4月)(国立環境研究所温室効果ガスインベントリオフィス編)	スギ 0.25 ヒノキ 0.26 広葉樹等 0.26 0 0
0.5:	植物中の炭素含有率	
44/12:	炭素から二酸化炭素への換算係数	

年度	社会的割引率	スギ		ヒノキ		広葉樹等		効果額		効果額		効果額	
		事業効果蓄積	効果額	事業効果蓄積	効果額	事業効果蓄積	効果額	事業効果蓄積	効果額	事業効果蓄積	効果額		
2012	1.0000												
2013	0.9615	7.79	42	3.24	23	2.40	29						
2014	0.9246	7.79	42	3.24	23	2.40	29						
2015	0.8890	7.79	42	3.24	23	2.40	29						
2016	0.8548	7.79	42	3.24	23	2.40	29						
2017	0.8219	7.79	42	3.24	23	2.40	29						
2018	0.7903	7.79	42	3.24	23	2.40	29						
2019	0.7599	7.79	42	3.24	23	2.40	29						
2020	0.7307	7.79	42	3.24	23	2.40	29						
2021	0.7026	7.79	42	3.24	23	2.40	29						
2022	0.6756	7.79	42	3.24	23	2.40	29						
2023	0.6496	7.79	42	3.24	23	2.40	29						
2024	0.6246	7.79	42	3.24	23	2.40	29						
2025	0.6006	7.79	42	3.24	23	2.40	29						
2026	0.5775	7.79	42	3.24	23	2.40	29						
2027	0.5553	7.79	42	3.24	23	2.40	29						
2028	0.5339	7.79	42	3.24	23	2.40	29						
2029	0.5134	7.79	42	3.24	23	2.40	29						
2030	0.4936	7.79	42	3.24	23	2.40	29						

誤

地区別評価結果

(2)水源林造成事業(独立行政法人事業)

2 地区別評価結果

(3)熊野川広域流域(参考資料)

環境保全便益 炭素固定便益 樹木固定分

環境保全便益  
炭素固定便益  
樹木固定分

$$B = \sum_{t=1}^Y \frac{V2-V1}{Y \times (1+i)^t} \times D \times BEF \times (1+R) \times 0.5 \times \frac{44}{12} \times U$$

U:	二酸化炭素に関する原単位(円/CO <sub>2</sub> -ton) 出典:「二酸化炭素地中貯留技術開発成果報告書」(財)地球環境産業技術研究機構(平成18年3月)	6.046
V1:	事業を実施しない場合の評価最終年の当該森林の見込蓄積量(m <sup>3</sup> ) (事業を実施する場合の評価最終年の当該森林の見込蓄積量の1/2を想定)	スギ 312 ヒノキ 173 広葉樹等 128 0 0
V2:	事業を実施する場合の評価最終年の当該森林の見込蓄積量(m <sup>3</sup> ) 出典:人工林林分密度管理図(一社)日本森林技術協会) 森林農地整備センター収獲予測表(独)森林総合研究所)等	スギ 624 ヒノキ 346 広葉樹等 258 0 0
Y:	評価期間	80
D:	容積密度(t/m <sup>3</sup> ) 出典:「日本国温室効果ガスインベントリ報告書」(2011年4月)(国立環境研究所温室効果ガスインベントリオフィス編)	スギ 0.314 ヒノキ 0.407 広葉樹等 0.646 0 0
BEF:	バイオマス拡大係数(地上部バイオマス量/幹バイオマス量) 出典:「日本国温室効果ガスインベントリ報告書」(2011年4月)(国立環境研究所温室効果ガスインベントリオフィス編)	樹齢20年経 0.123 樹齢20年経 0.124 樹齢20年経 0.133 0 0 樹齢20年経 0
R:	地上部に対する地下部の比率(地下部バイオマス量/地上部バイオマス量) 出典:「日本国温室効果ガスインベントリ報告書」(2011年4月)(国立環境研究所温室効果ガスインベントリオフィス編)	スギ 0.25 ヒノキ 0.26 広葉樹等 0.26 0 0
0.5:	植物中の炭素含有率	
44/12:	炭素から二酸化炭素への換算係数	

年度	社会的割引率	スギ		ヒノキ		広葉樹等		効果額		効果額		効果額	
		事業効果蓄積	効果額	事業効果蓄積	効果額	事業効果蓄積	効果額	事業効果蓄積	効果額	事業効果蓄積	効果額		
2012	1.0000												
2013	0.9615	7.79	42	3.24	23	2.40	29						
2014	0.9246	7.79	42	3.24	23	2.40	29						
2015	0.8890	7.79	42	3.24	23	2.40	29						
2016	0.8548	7.79	42	3.24	23	2.40	29						
2017	0.8219	7.79	42	3.24	23	2.40	29						
2018	0.7903	7.79	42	3.24	23	2.40	29						
2019	0.7599	7.79	42	3.24	23	2.40	29						
2020	0.7307	7.79	42	3.24	23	2.40	29						
2021	0.7026	7.79	42	3.24	23	2.40	29						
2022	0.6756	7.79	42	3.24	23	2.40	29						
2023	0.6496	7.79	42	3.24	23	2.40	29						
2024	0.6246	7.79	42	3.24	23	2.40	29						
2025	0.6006	7.79	42	3.24	23	2.40	29						
2026	0.5775	7.79	42	3.24	23	2.40	29						
2027	0.5553	7.79	42	3.24	23	2.40	29						
2028	0.5339	7.79	42	3.24	23	2.40	29						
2029	0.5134	7.79	42	3.24	23	2.40	29						
2030	0.4936	7.79	42	3.24	23	2.40	29						



(別添)

公共事業の事業評価書(林野公共事業の事前評価)(平成25年3月29日公表)の一部修正 正誤表

正

地区別評価結果

(2)水源林造成事業(独立行政法人事業)

2 地区別評価結果

(3) 熊野川広域流域(参考資料)

環境保全便益 炭素固定便益 樹木固定分

2021	0.7026	94	66
2022	0.6756	94	64
2023	0.6496	94	61
2024	0.6246	94	59
2025	0.6006	94	56
2026	0.5775	94	54
2027	0.5553	94	52
2028	0.5339	94	50
2029	0.5134	94	48
2030	0.4936	94	46
2031	0.4746	94	45
2032	0.4564	94	43
2033	0.4388	94	41
2034	0.4220	94	40
2035	0.4057	94	38
2036	0.3901	94	37
2037	0.3751	94	35
2038	0.3607	94	34
2039	0.3468	94	33
2040	0.3335	94	31
2041	0.3207	94	30
2042	0.3083	94	29
2043	0.2965	94	28
2044	0.2851	94	27
2045	0.2741	94	26
2046	0.2636	94	25
2047	0.2534	94	24
2048	0.2437	94	23
2049	0.2343	94	22
2050	0.2253	94	21
2051	0.2166	94	20
2052	0.2083	94	20
2053	0.2003	94	19
2054	0.1926	94	18
2055	0.1852	94	17
2056	0.1780	94	17
2057	0.1712	94	16
2058	0.1646	94	15
2059	0.1583	94	15
2060	0.1522	94	14
2061	0.1463	94	14
2062	0.1407	94	13
2063	0.1353	94	13
2064	0.1301	94	12
2065	0.1251	94	12
2066	0.1203	94	11
2067	0.1157	94	11
2068	0.1112	94	10
2069	0.1069	94	10
2070	0.1028	94	10
2071	0.0989	94	9
2072	0.0951	94	9
2073	0.0914	94	9
2074	0.0879	94	8
2075	0.0845	94	8
2076	0.0813	94	8
2077	0.0781	94	7
2078	0.0751	94	7
2079	0.0722	94	7
2080	0.0695	94	7
2081	0.0668	94	6
2082	0.0642	94	6
2083	0.0617	94	6
2084	0.0594	94	6
2085	0.0571	94	5
2086	0.0549	94	5
2087	0.0528	94	5
2088	0.0508	94	5
2089	0.0488	94	5
2090	0.0469	94	4
2091	0.0451	94	4
2092	0.0434	94	4
合計			2,247

誤

地区別評価結果

(2)水源林造成事業(独立行政法人事業)

2 地区別評価結果

(3) 熊野川広域流域(参考資料)

環境保全便益 炭素固定便益 樹木固定分

2021	0.7026	94	66
2022	0.6756	94	64
2023	0.6496	94	61
2024	0.6246	94	59
2025	0.6006	94	56
2026	0.5775	94	54
2027	0.5553	94	52
2028	0.5339	94	50
2029	0.5134	94	48
2030	0.4936	94	46
2031	0.4746	94	45
2032	0.4564	94	43
2033	0.4388	94	41
2034	0.4220	94	40
2035	0.4057	94	38
2036	0.3901	94	37
2037	0.3751	94	35
2038	0.3607	94	34
2039	0.3468	94	33
2040	0.3335	94	31
2041	0.3207	94	30
2042	0.3083	94	29
2043	0.2965	94	28
2044	0.2851	94	27
2045	0.2741	94	26
2046	0.2636	94	25
2047	0.2534	94	24
2048	0.2437	94	23
2049	0.2343	94	22
2050	0.2253	94	21
2051	0.2166	94	20
2052	0.2083	94	20
2053	0.2003	94	19
2054	0.1926	94	18
2055	0.1852	94	17
2056	0.1780	94	17
2057	0.1712	94	16
2058	0.1646	94	15
2059	0.1583	94	15
2060	0.1522	94	14
2061	0.1463	94	14
2062	0.1407	94	13
2063	0.1353	94	13
2064	0.1301	94	12
2065	0.1251	94	12
2066	0.1203	94	11
2067	0.1157	94	11
2068	0.1112	94	10
2069	0.1069	94	10
2070	0.1028	94	10
2071	0.0989	94	9
2072	0.0951	94	9
2073	0.0914	94	9
2074	0.0879	94	8
2075	0.0845	94	8
2076	0.0813	94	8
2077	0.0781	94	7
2078	0.0751	94	7
2079	0.0722	94	7
2080	0.0695	94	7
2081	0.0668	94	6
2082	0.0642	94	6
2083	0.0617	94	6
2084	0.0594	94	6
2085	0.0571	94	5
2086	0.0549	94	5
2087	0.0528	94	5
2088	0.0508	94	5
2089	0.0488	94	5
2090	0.0469	94	4
2091	0.0451	94	4
2092	0.0434	94	4
合計			2,247







(別添)

公共事業の事業評価書(林野公共事業の事前評価)(平成25年3月29日公表)の一部修正 正誤表

正					誤				
地区別評価結果					地区別評価結果				
(2)水源林造成事業(独立行政法人事業)					(2)水源林造成事業(独立行政法人事業)				
2 地区別評価結果					2 地区別評価結果				
(3) 熊野川広域流域(参考資料)					(3) 熊野川広域流域(参考資料)				
木材生産等便益 生産確保・増進便益					木材生産等便益 生産確保・増進便益				
	2051	0.2166		0		2051	0.2166		0
	2052	0.2083		0		2052	0.2083		0
	2053	0.2003		0		2053	0.2003		0
	2054	0.1926		0		2054	0.1926		0
	2055	0.1852		0		2055	0.1852		0
	2056	0.1780		0		2056	0.1780		0
	2057	0.1712		0		2057	0.1712		0
	2058	0.1646		0		2058	0.1646		0
	2059	0.1583		0		2059	0.1583		0
	2060	0.1522		0		2060	0.1522		0
	2061	0.1463		0		2061	0.1463		0
	2062	0.1407		0		2062	0.1407		0
	2063	0.1353		0		2063	0.1353		0
	2064	0.1301		0		2064	0.1301		0
	2065	0.1251		0		2065	0.1251		0
	2066	0.1203		0		2066	0.1203		0
	2067	0.1157		0		2067	0.1157		0
	2068	0.1112		0		2068	0.1112		0
	2069	0.1069		0		2069	0.1069		0
	2070	0.1028		0		2070	0.1028		0
	2071	0.0989		0		2071	0.0989		0
	2072	0.0951		0		2072	0.0951		0
	2073	0.0914		0		2073	0.0914		0
	2074	0.0879		0		2074	0.0879		0
	2075	0.0845		0		2075	0.0845		0
	2076	0.0813		0		2076	0.0813		0
	2077	0.0781		0		2077	0.0781		0
	2078	0.0751		0		2078	0.0751		0
	2079	0.0722		0		2079	0.0722		0
	2080	0.0695		0		2080	0.0695		0
	2081	0.0668		0		2081	0.0668		0
	2082	0.0642		0		2082	0.0642		0
	2083	0.0617		0		2083	0.0617		0
	2084	0.0594		0		2084	0.0594		0
	2085	0.0571		0		2085	0.0571		0
	2086	0.0549		0		2086	0.0549		0
	2087	0.0528		0		2087	0.0528		0
	2088	0.0508		0		2088	0.0508		0
	2089	0.0488		0		2089	0.0488		0
	2090	0.0469		0		2090	0.0469		0
	2091	0.0451		0		2091	0.0451		0
	2092	0.0434		5.301	230	2092	0.0434		5.899
	合計				230	合計			260